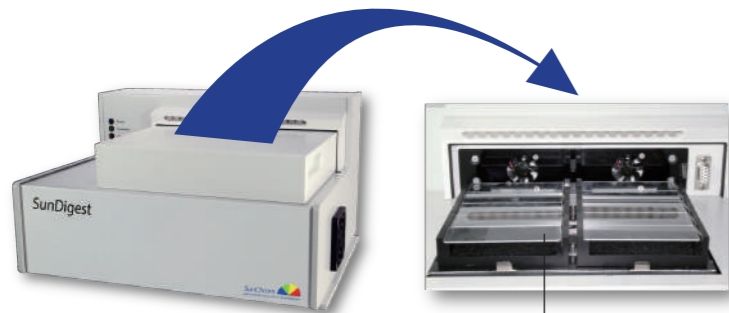
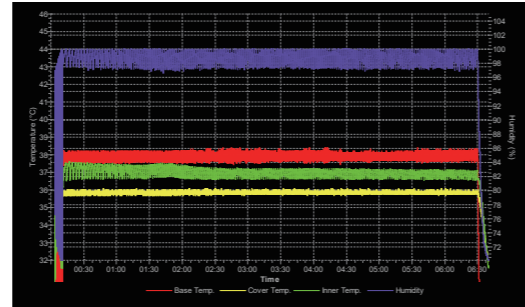


オプション

組織上での酵素消化システム SunDigest



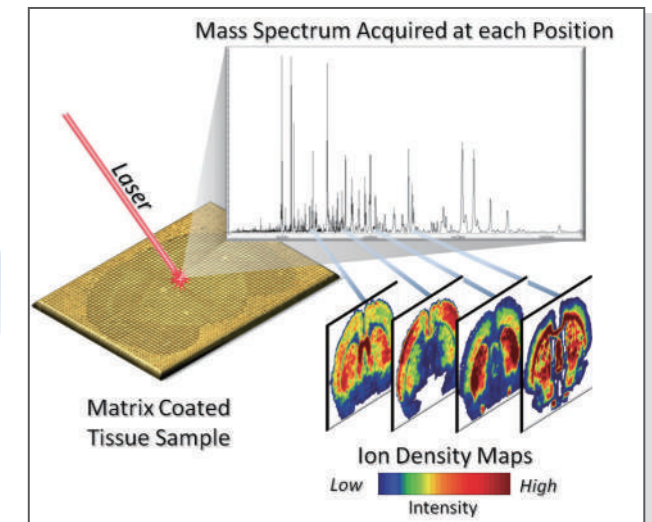
スライドグラス



Base Temp. = Temperature of the bottom plate
Cover Temp. = Temperature of the cover lid
Inner Temp. = Temperature right next to the slides

- ウォーターリザーバーにより、消化のための湿度を確保
- 湿度の飽和状態を迅速に達成し、98%~100%の湿度をキープ
- スライドグラスにのせた組織上での酵素消化(スライドは2×5枚)

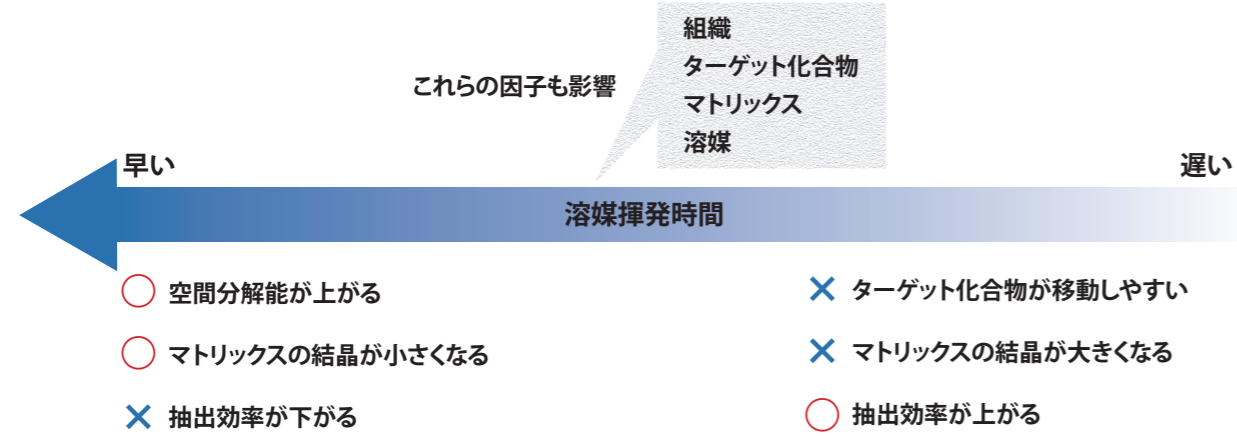
MALDIイメージング用スプレーヤー SunCollect



装置特徴

- 高い均一性のあるマトリックス塗布
- 酵素とマトリックスの溶液も、同様に扱うことが可能
- マルチレイヤー技術により、ターゲット化合物の高い抽出効率と高い空間分解能を達成
- マトリックスのレイヤーは分単位で複数重ねていくことが可能
- 装置のパラメータは、サンプルに応じて容易に最適化可能

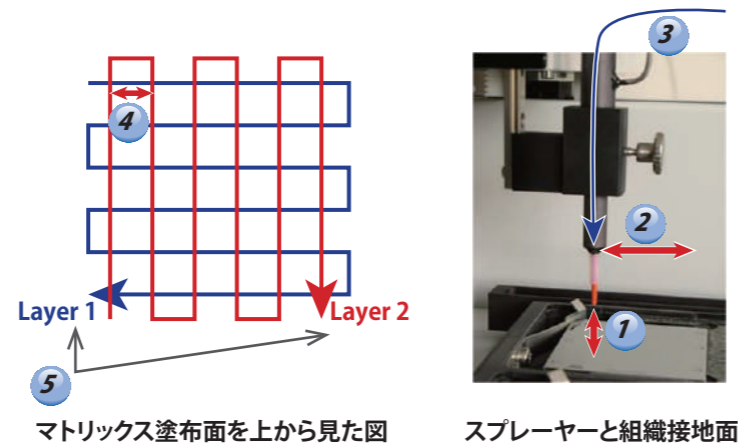
マトリックスを塗布する上での難点



SunCollectの特徴

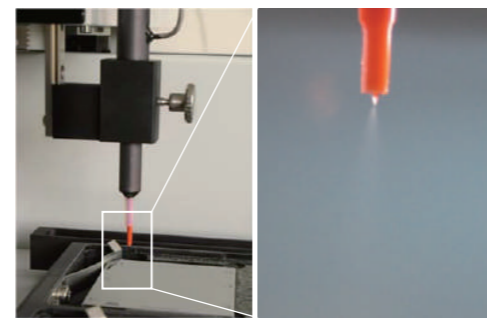
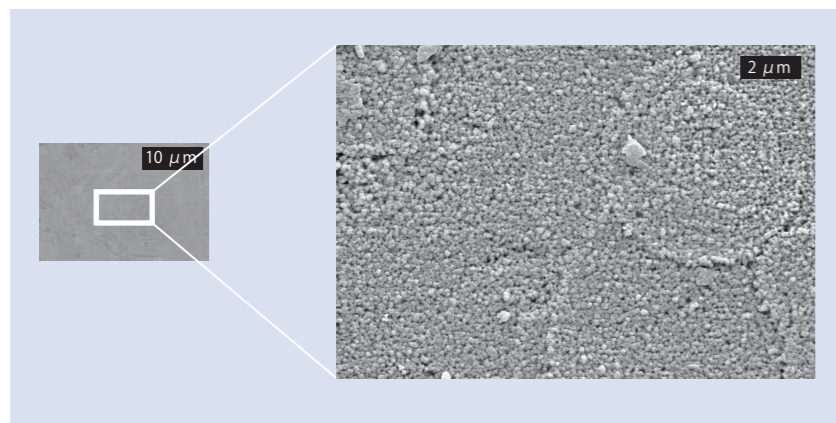
以下のパラメータを操作可能 → マトリックス塗布の最適化が可能

- 1 スプレーヤーの組織サンプルからの高さ
- 2 スプレーヤーの移動速度
- 3 マトリックスの流速
- 4 スプレーする列間の距離
- 5 マトリックス各層ごとの、スプレーヤー移動方向



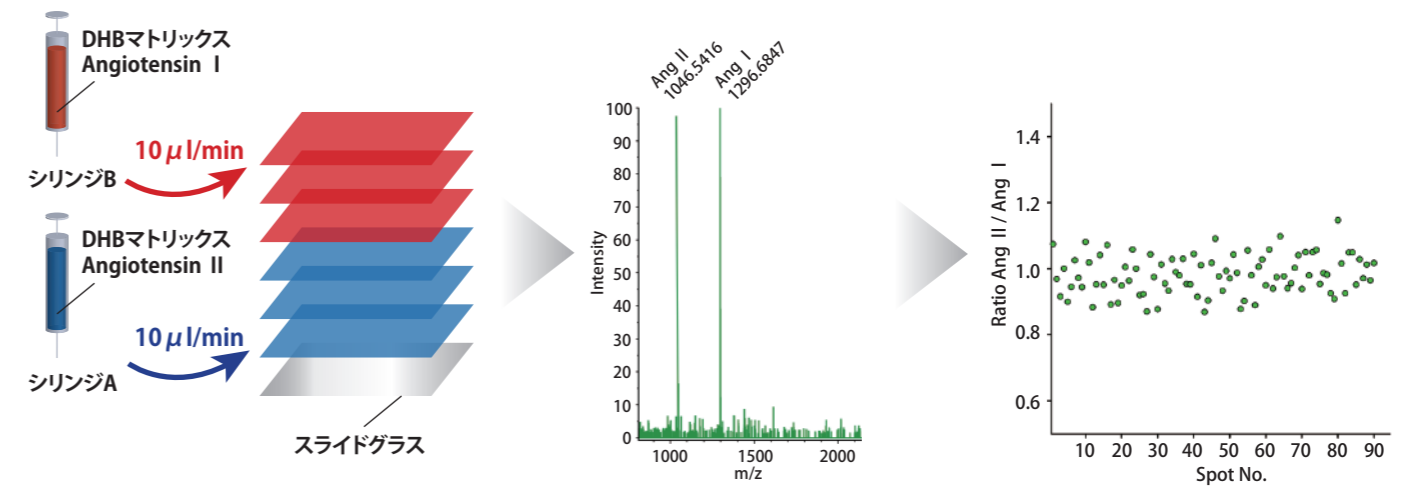
SunCollectによるマトリックス塗布後の結晶

HCCAが130-140 nmで均一に結晶化している。
SunCollectによるマトリックス塗布が、均一で、小さな結晶を作成することがわかる。



■使用可能マトリックス
DHB
CHCA
SA
9-AA
Etc.
含水溶媒でも可

SunCollectによるマトリックス塗布の均一性を示す実験

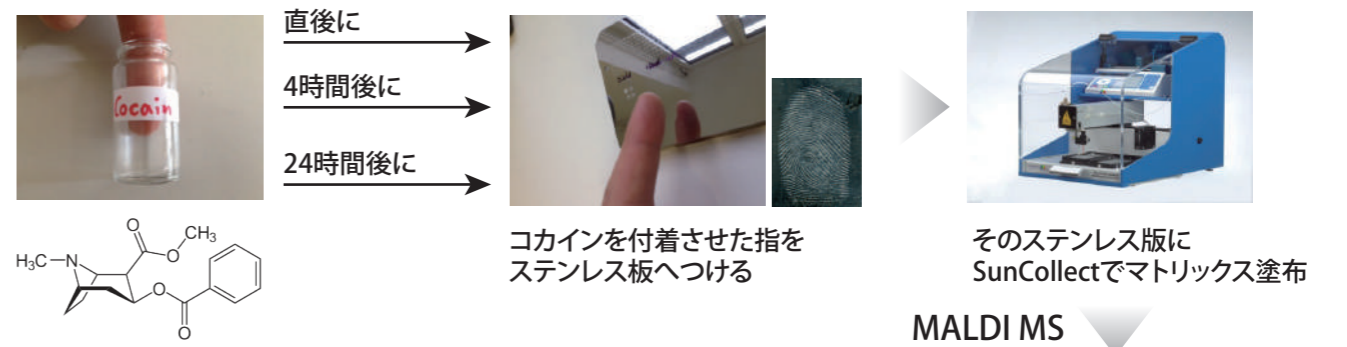


異なるペプチド(Angiotensin I, II)を
予めミックスしたマトリックスを、それぞ
れ3層ずつ塗布

Ang I とAng II の強度はほぼ等しい

塗布されたマトリックス上の
あらゆるスポットにおいて、
Ang I とAng II の比率は等しい

SunCollect前処理による指紋の分析



コカイン(分子量303.35)を
指に付着させる

24時間経過後の指紋サンプル
も、MALDI イメージングでコ
カインが指紋上に同定できて
いる。

